



令和8年度



安来市の予算

**未来への投資と、
堅実な財政の両立**

令和8年度の当初予算は、本市の将来像「ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまち」の実現に向け、第3次安来市総合計画と第3期安来市創生総合戦略を踏まえて編成しました。

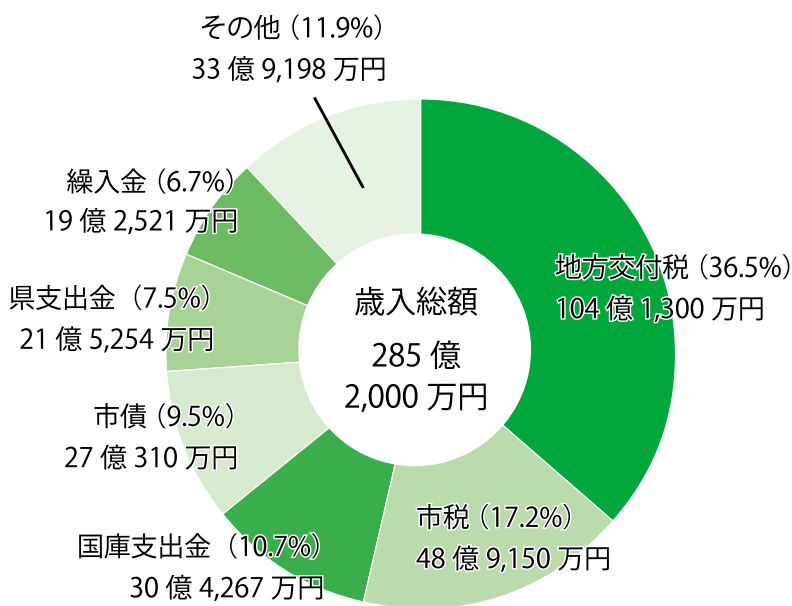
人口減少対策をはじめ、子育て支援や教育環境の充実、産業振興など、次の世代につながる施策を着実に進めます。また、物価高騰など社会情勢の変化にも対応し、必要な事業に重点的に予算を配分しました。

一方で、持続可能な行財政運営に向け、歳入に見合った歳出を基本に、事業の見直しや歳出の節減を行いました。

今号では、令和8年度当初予算の概要と主な事業をお知らせします。

問 財政課 ☎ 23・3025

一般会計の歳入



地方交付税	全国どの市町村でも一定の行政サービスが行えるよう、国から交付されるお金です。
市税	市民の皆さんに納めていただく税金です。
国庫・県支出金	特定の事業を行う際に、国や県から交付される負担金や補助金です。
市債	主に建設事業などの財源として、国や銀行などから借り入れるお金です。
繰入金	基金などから繰り入れるお金です。



令和8年度会計別予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	285億2,000万円	▲1.2%

会計名	予算額	前年度比
企業会計	94億5,594万円	+0.5%
水道事業会計	22億4,365万円	+4.2%
下水道事業会計	39億3,358万円	▲4.0%
病院事業会計	32億7,870万円	+3.9%

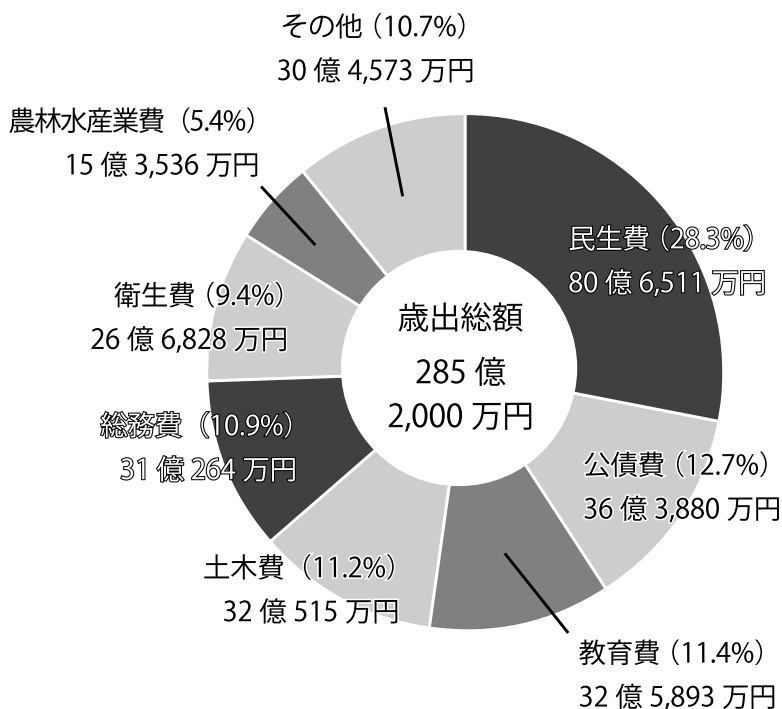
※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

会計名	予算額	前年度比
特別会計	104億5,906万円	▲4.2%
国民健康保険事業	37億6,400万円	▲1.0%
後期高齢者医療事業	14億5,200万円	+8.0%
介護保険事業	51億5,000万円	▲3.4%
電気事業	9,200万円	▲79.1%
財産区計	106万円	+0.5%

※財産区計は、母里・井尻・赤屋財産区の合計額です。

民生費	子育てや高齢者、障がい者福祉などにかかる経費です。
公債費	市が借り入れたお金の返済や利子の支払いにかかる経費です。
教育費	学校教育や図書館、スポーツ施設などにかかる経費です。
土木費	道路や河川、公園などの整備や維持管理にかかる経費です。
総務費	市役所の運営、窓口業務、広報、選挙などにかかる経費です。
衛生費	健康づくりや各種検診、ごみの収集・処理などにかかる経費です。

一般会計の歳出



当初予算の主な事業

当初予算の詳細は、ホームページからご覧ください▶



1. 保健・医療・福祉



安来市立病院

- ・持続可能な医療提供体制の確保 2,448 万円
- ・フレイル予防の推進 343 万円
- ・介護人材の確保 375 万円
- ・医師・看護師等の確保 1,096 万円

2. 子育て・教育・文化



- ・小中学校適正配置に向けた校舎整備 2 億 6,164 万円
- ・5 歳児健診事業の実施 130 万円
- ・小学校給食費の負担軽減 5 億 1,775 万円
- ・こども誰でも通園制度の実施 537 万円
- ・和鋼博物館の改修 6,156 万円

3. 防災・防犯

- ・防災備蓄品の整備 1,500 万円
- ・河川水位監視カメラの設置 150 万円
- ・消防団への災害情報伝達アプリ導入 331 万円

4. 産業・観光・雇用

- ・カメムシ防除の支援 1,500 万円
- ・林業人材育成拠点の運営 614 万円
- ・高校魅力化の推進 1,524 万円
- ・高校生受入環境の整備 2,800 万円
- ・企業立地の促進 1 億 2,306 万円

5. 都市基盤・生活

- ・空き家対策の推進 2,455 万円
- ・バス位置情報システムの試験導入 193 万円
- ・安来スマートインターチェンジ（仮称）整備事業 1 億 7,170 万円
- ・都市計画マスタープラン等の見直し 1,300 万円

6. 自然・環境保全

- ・地球温暖化対策の推進 250 万円
- ・再生可能エネルギーの普及促進 1,485 万円

7. 参画・協働・行財政



子ども未来応援プロジェクト 2025

- ・地区交流センターの整備 1,192 万円
- ・広瀬地域センター機能移転 3,500 万円
- ・地域づくりの推進 1,630 万円